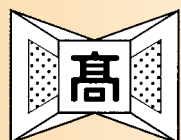
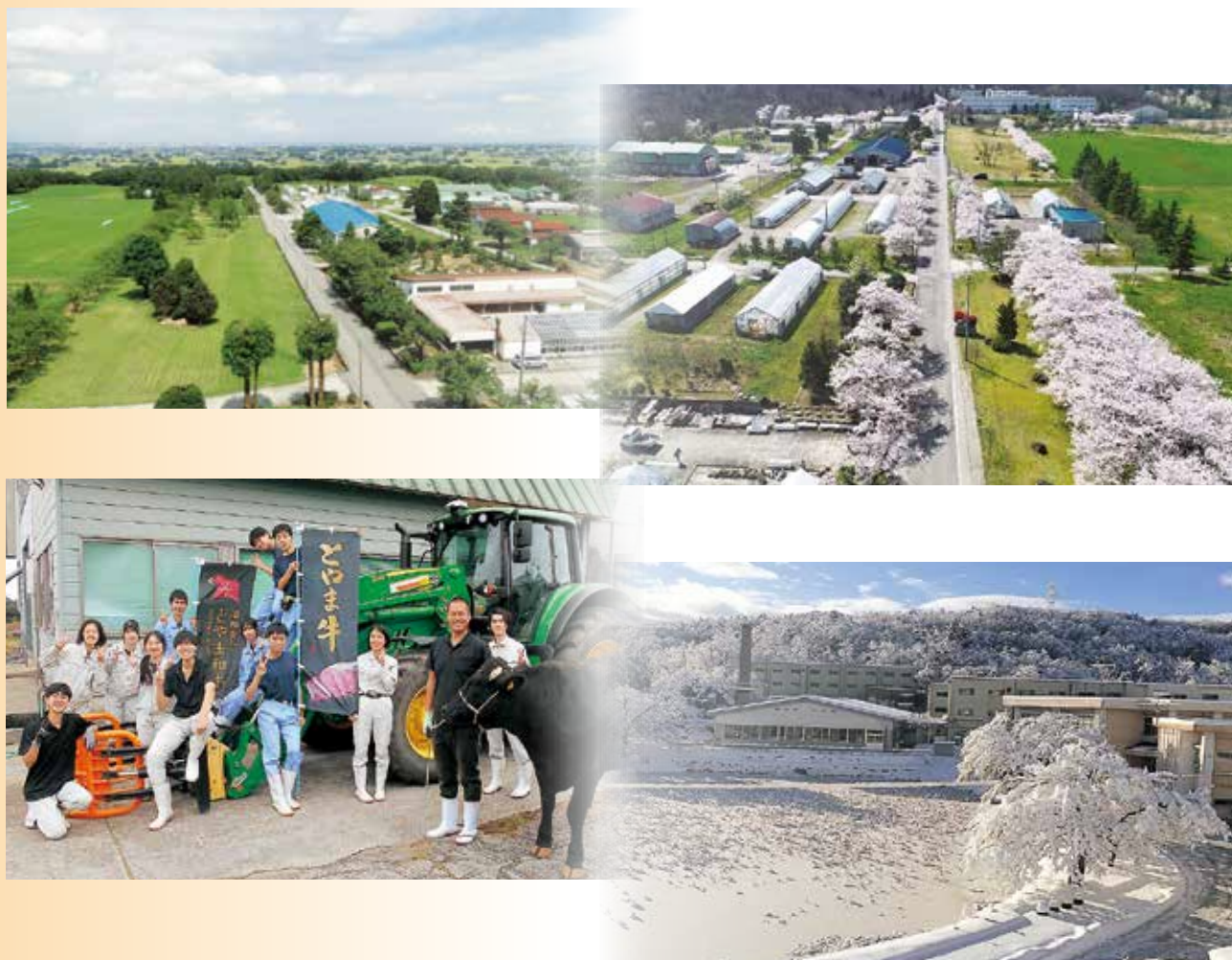


令和7年度



学校要覧



富山県立中央農業高等学校

〒930-1281 富山県富山市東福沢2
TEL 代 表 (076) 483-1911
農場センター (076) 483-1852
作物実習室 (076) 483-3406
FAX 代 表 (076) 483-3362
農場センター (076) 483-1852
ホームページ <http://www.chuno-h.tym.ed.jp>
Eメール chuonoko@ed.pref.toyama.jp

沿革概要

昭和33年 4月 1日	富山県立富山通信産業高等学校(定時制農業課程)を富山市太郎丸285番地に設置	昭和53年10月25日	創立20周年記念式を挙行
昭和33年 4月10日	富山市太郎丸農業試験場内で、開校式ならびに第1回入学式を挙行	昭和56年 4月 1日	農業特別専攻科教場、富山市太郎丸より本校に移転
昭和34年 4月 1日	富山県立富山通信産業高等学校別科(修業年限1年)を上新川郡大山町東福沢2番地(富山県経営伝習農場内)に設置	昭和60年 4月 1日	昭和60・61年度文部省教育課程研究校に指定
昭和34年 4月 3日	富山県営伝習農場が県農林部より県教育委員会に移管	昭和60年 6月15日	グラウンド拡張整備完成
昭和34年 4月 6日	別科開校式ならびに第1回入学式を挙行	昭和61年 3月31日	池周辺整備完成
昭和35年 4月 1日	別科修業年限1年を2年に延長	昭和62年 3月18日	生物工学実験棟完成
昭和36年 4月 1日	校名を富山県立富山産業高等学校と改称	昭和63年10月 9日	創立30周年記念式を挙行
昭和37年 3月20日	農業科第1回卒業式を挙行	平成 2年 3月30日	寄宿舎管理棟完成
昭和37年 4月 1日	別科を廃止し、農業経営科(福沢教場)を設置	平成 5年 4月 1日	農業科、園芸科、畜産科、生活科の4学科づくり募集
昭和37年 7月 7日	第11回読売教育賞受賞	平成 6年 3月31日	特別教室棟(情報処理室、美術室・造園実習室)完成
昭和38年 3月 6日	農業経営科第1回卒業式を挙行	平成 6年 4月 1日	生活科を生活科学科に科名を変更
昭和41年 4月 1日	富山県立石動高等学校若林分校を廃止し、富山県立富山産業高等学校小矢部教場(農業科および生活科)を設置	平成10年 7月	「自営者養成農業高等学校」から「農業経営者育成高等学校」に名称が変更
昭和41年 8月25日	PTA活動に対し、文部大臣賞受賞	平成10年10月17日	創立40周年記念式を挙行
昭和43年 4月 1日	小矢部教場が小矢部産業高等学校と校名を変更	平成11年10月20、21日	第50回日本学校農業クラブ全国大会(富山大会)を事務局校として開催
昭和43年11月 7日	創立10周年記念式を挙行	平成14年 3月15日	寮渡り廊下改築、体育館リフレッシュ工事竣工
昭和44年 4月 1日	「自営者養成農業高等学校」の指定を受け、全日制に転換し県立中央農業高等学校と校名を変更、同時に定時制農業科および農業経営科の募集を停止し、新たに農業科、園芸科、畜産科、生活科を設置	平成14年 3月26日	車椅子使用者対応便所完成
昭和44年 5月29日	第20回全国植樹祭に際し、昭和天皇、皇后両陛下本校に行幸啓	平成15年 4月 1日	学科改編により農業科、園芸科、畜産科、生活科学科の募集を停止し、新たに生物生産科、園芸デザイン科、バイオ技術科を設置
昭和47年 4月 1日	農業特別専攻科を設置		農業特別専攻科に、担い手育成コースと庭園コースを設置
昭和47年11月10日	校舎完工式典を挙行	平成15年11月13日	動物科学棟完成
昭和48年10月25日	第24回日本学校農業クラブ全国大会家畜審査競技会を本校で開催	平成19年 2月16日	寄宿舎全棟 リフレッシュ工事完了
昭和49年 3月 5日	農業特別専攻科第1回卒業式を挙行	平成20年10月17日	創立50周年式典を挙行
昭和50年 5月31日	昭和50・51年度文部省教育課程研究校に指定	平成20年11月27日	本館3階建て部分耐震工事完了
		平成21年 7月28日	体育館耐震工事完了
		平成22年10月 5日	地下1階を含む本館4階建て部分耐震工事完了
		平成26年10月31日	農場センター耐震工事完了
		平成30年10月19日	創立60周年式典を挙行
		平成31年 4月11日	敷地内にとやま農業未来カレッジ「ICT活用による環境制御型園芸ハウス」設置
		令和 2年 3月31日	寄宿舎棟新1号棟完成
		令和 5年11月28日	JGAP(畜産)認証

教育目標

□校 訓 ———— 自主・協同・勤労

□教育目標 ———— 明るく豊かな社会の構成者及び農業の担い手にふさわしい人格の完成をめざし、個性の伸長と能力の開発に努め、創造性豊かで心身ともに健康で社会の進展に対応できる近代的な職業人を育成する。

□教育方針 ————

- ・ 自主独立の精神を基礎として、真理と正義を愛し、個人の尊厳と責任を重んじ、明るく豊かな社会を建設していく意欲的態度を育成する。
- ・ 自他の敬愛と協力によって社会生活を深く理解し、広い視野のもとに文化を創造していく創造力と健全な判断力を育成する。
- ・ 正しい勤労観・職業観の確立を図り、新しい生産技術と経営能力を身につけ、農業経営を計画的に改善していくたくましい実践力を育成する。

設置学科

2年次からいずれかの科とコースを選択します。

生物生産科

食料供給(作物・野菜・家畜)及び経営に関する分野の人材を育成する。

食料生産分野の基礎的な知識・技術を習得させ、品質と生産性の向上を図る創造的・実践的な能力と態度を身につけた農業経営者及び技術者を育成する。

◆作物科学コース

作物・野菜生産に関する知識・技術を習得させ、安全で付加価値の高い食料生産と経営に必要な能力と態度を身につけた農業経営者及び技術者を育てる。

◆動物科学コース

家畜、愛玩動物の飼育管理に関する知識・技術を習得させ、食肉生産経営や動物セラピーでの活用に必要な能力と態度を育てる。

園芸デザイン科

花と緑の生産及び生活環境づくり、ヒューマンサービスに関連する分野の人材を育成する。

草花生産や園芸デザイン・環境緑化及び農業生物を活用したセラピー等の特質に関する基礎的な知識・技術を習得させ、生活環境改善と専門を生かした福祉に主体的・創造的に貢献できる能力と態度を身につけた人材を育成する。

◆園芸福祉コース

草花生産及び園芸に関する知識・技術を習得させ、園芸セラピーでの活用など、将来の福祉型社会に主体的に貢献できる能力と態度を育てる。

◆環境緑化コース

緑化木生産及び造園に関する知識・技術を習得させ、将来のグリーンコーディネーターとなり得る能力と態度を育てる。

バイオ技術科

バイオテクノロジーを活用した生物生産及び農産物の加工・流通に関する分野の人材を育成する。

バイオテクノロジーを利用した生物資源の生産、加工及び流通に関する基礎的な知識・技術を習得させ、高付加価値農業やバイオ関連産業、アグリビジネスの各分野で広く活躍できる人材を育成する。

◆生物工学コース

植物バイオテクノロジーに関する知識・技術を習得させ、地域農業への応用や生物資源を高度利用できる能力と態度を育てる。

◆食品加工コース

微生物バイオテクノロジーを利用した食品加工及び食品流通に関する知識・技術を習得させ、品質の向上と流通の改善ができる能力と態度を育てる。

本校教育の特色

寮における1日

時間	日 課
6:30	起床
6:35~6:40	朝の集い 点呼終了後清掃
7:15~7:45	朝食
8:00~8:20	登校
8:40~12:50	授業
12:50~13:30	昼食
13:30~15:20	授業
15:20~16:30	清掃、農場当番、部活動
16:20~20:15	自主活動、入浴
17:45~18:25	夕食
20:20~20:30	夕べの集い
20:30~21:40	学習
21:55~22:00	点呼
22:00	就寝

1 寮教育

- ・ 1年次においては1学期寮生活を行う。(その後、入寮は希望者のみ)
- ・ 集団生活を通して、自主・協同・勤労の精神をかん養し、責任を重んじる態度を育成する。
- ・ 農場当番実習などを通して、積極的・創造的な生活態度を養う。

2 基礎的農業学習

1年次は学科編制を行わず共通カリキュラムとし、農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

3 学科選択とコース別学習

2年次から生徒の個性、希望進路などに応じて学科及びコースを選択し、各専門分野で、実験・実習や課題研究を行う。

農業特別専攻科

…高校卒業者、又は同等以上の学力があると認められる者

◆担い手育成コース

農業の担い手に対し、経営上の指導助言を行い、より高度な教養と幅広い視野にもとづく判断力と農業技術、経営能力を身につけた農業人を育成する。

◆庭園コース

住宅庭園(樹木・花木・草花・野菜など)の基礎的な管理等やガーデニングに関する知識・技術の習得を目指す者に対して、適切な指導助言を行い、県民生涯学習カレッジ的機能を担う。

教育課程表

全学科共通履修科目

全学科で共通して学ぶ科目です

(令和5年度入学生)

教科	科目	標準 単位数	1学年	2学年	3学年	合計単位数
国語	現代の国語◎	2	2			2
	言語文化◎	2		2		2
	実践国語◇			1	2	3
	国語演習◇				■2	0・2
	作文演習◇			▽2		0・2
歴史	地理総合◎	2		2		2
	歴史総合◎	2		2		2
公民	公共◎	2	2			2
	政治・経済	2			■2	0・2
数学	数学Ⅰ◎	3	2	1		3
	数学Ⅱ	4		1	2	3
	数学A	2		▽2		0・2
	数学B	2			■2	0・2
理科	総合数学◇				■2	0・2
	科学と人間生活◎	2	2			2
	化学基礎◎	2		2		2
	生物基礎◎	2			2	2
体育・保健	理科探究◇				■2	0・2
	体育◎	7~8	3	2	2	7
芸術	保健◎	2	1	1		2
	音楽Ⅰ◎	2	★2			0・2
外国語	美術Ⅰ◎	2	★2			0・2
	書道Ⅰ◎	2	★2			0・2
	英語コミュニケーションⅠ◎	3		2	2	4
家庭情報	論理・表現Ⅰ	2	2			2
	英語探究◇				■2	0・2
	グローバル・コミュニケーション◇				■2	0・2
学びの基礎	家庭総合◎	4	2	2		4
	農業と情報◎	2				
共通教科・科目計			19	19・21	11・13・15	49・51・53・55

(令和6,7年度入学生)

教科	科目	標準 単位数	1学年	2学年			3学年			合計単位数
				生物 生産科	農業・ 食品科	バイオ 技術科	生物 生産科	農業・ 食品科	バイオ 技術科	
国 語	現代の国語◎	2	2							2
	言語文化◎	2		2						2
	実践国語◇			1			2			3
	国語演習◇						■2			0・2
	作文演習◇			▽2		▽2				0・2
歴 史 理	歴史総合◎	2	2							2
	地理総合◎	2								2
	日本史探究	3		▽2		▽2	■2		■2	0・4
公 民	公 共 ◎	2		2						2
	政 治・ 経 済	2					■2			0・2
数 学	数 学 I ◎	3	2	2						4
	数 学 A	2					2			2
	基礎数学◇			▽2		▽2				0・2
	総合数学◇						■2			0・2
	応用数学◇						■2			0・2
理 科	科学と人間生活◎	2	2							2
	化学基礎◎	2		2						2
	生物基礎◎	2					2			2
	理科探究◇						■2			0・2
体 育 保 健	体 育 ◎	7～8	3	2			2			7
	保 健 ◎	2	1	1						2
芸 術	音 楽 I ◎	2	★2							0・2
	美 術 I ◎	2	★2							0・2
	書 道 I ◎	2	★2							0・2
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ◎	3		2			2			4
	論理・表現Ⅰ	2	2							2
	論理・表現Ⅱ	2					■2			0・2
	グローバル・コミュニケーション◇						■2			0・2
家 庭	家庭総合◎	4	2	2						4
情 報	農業と情報◎	2	2							
学びの基礎	中農チャレンジ◇		1	1			1			3
共通教科・科目計			19	19・21			11・13・15			49・51・53・55

■ 詳細

〈1学年〉

★印の科目より1科目を選択

〈2学年〉

▽印、○印の科目よりそれぞれ1科目を選択

〈3学年〉

■印(共通教科、専門教科)より2科目を選択

〈全学年〉

・◎印は必修科目

・ホームルーム活動は、各学年1単位

・週当たりの授業時数は各学年30単位(これとは別に時間割外「総合実習」が各学年2単位)

・◇印の科目は、学校設定科目

・共通教科の情報「情報Ⅰ」は、専門教科の農業「農業と情報」で代替

・「総合的な探究の時間」は、専門教科の農業「課題研究」4単位の履修で140単位時間を代替

・※印は卒業に必要な単位に含めない



サイネリアの手入れ



畜産実習

専門教科・科目

◎生物生産科

教科	科目	標準 単位数	1学年	2学年		3学年		合計単位数
				作物科学 コース	動物科学 コース	作物科学 コース	動物科学 コース	
農	農業と環境◎	4～6	4					4
	課題研究◎	2～6		2		2		4
	総合実習	4～8	4	2		4		10
		時間割外	(2)	(2)		(2)		(6)
	農業と情報◎	2～6	2					2
	作物	2～8		2		2		0・4
	野菜	2～8		2		2		0・4
	畜産	4～10			2		4	0・6
	栽培と環境	2～6				■2b		0・2
	農業経営	2～6		2		2		2
	農業機械	2～6				■2#□2b		0・2
	食品製造	2～8				■2		0・2
	生物活用	2～6					2	0・2
業	農業情報処理演習◇			▽2				0・2
	大地と自然◇					2		0・2
	動物科学◇				2	■2#■2b		0・2
	農業会計◇					□2b		0・2
	農業探究			▽2				0・2
家庭	保育基礎	2～6				■2		0・2
	ファッション造形基礎	2～7				■2		0・2
	生活援助◇					■2		0・2
校外学修	フィールドスタディ◇			0・1(※)				0・1(※)
専門教科・科目計			10(2)	10・12(2)		14・16・18(2)		32・34・36・38(6)

b R6,7年度入学生 # R5年度入学生

◎バイオ技術科

教科	科目	標準 単位数	1学年	2学年		3学年		合計単位数
				生物工学 コース	食品加工 コース	生物工学 コース	食品加工 コース	
農	農業と環境◎	4～6	4					4
	課題研究◎	2～6		2		2		4
	総合実習	4～8	4	2		4		10
		時間割外	(2)	(2)		(2)		(6)
	農業と情報◎	2～6	2					2
	草花	2～6		2				0・2
	栽培と環境	2～6				■2b		0・2
	農業機械	2～6				■2#		0・2
	植物バイオテクノロジー	2～6		2		6		0・8
	食品製造	2～8			2	■2	4	0・2・6
	食品微生物	2～6		2				2
	地域資源活用	2～8			2			0・2
	農業情報処理演習◇			▽2				0・2
業	大地と自然◇					2#		2
	動物科学◇					■2#		0・2
	農業探究◇			▽2				0・2
家庭	保育基礎	2～6				■2		0・2
	ファッション造形基礎	2～7				■2		0・2
	フードデザイン	2～7					2	0・2
	生活援助◇					■2#		0・2
校外学修	フィールドスタディ◇			0・1(※)				0・1(※)
専門教科・科目計			10(2)	10・12(2)		14・16・18(2)		32・34・36・38(6)

b R6,7年度入学生 # R5年度入学生

◎園芸デザイン科

教科	科目	標準 単位数	1学年	2学年		3学年		合計単位数
				園芸福祉 コース	環境緑化 コース	園芸福祉 コース	環境緑化 コース	
農	農業と環境◎	4～6	4					4
	課題研究◎	2～6		2		2		4
	総合実習	4～8	4	2		4		10
		時間割外	(2)	(2)		(2)		(6)
	農業と情報◎	2～6	2					2
	草花	2～8		2		2		0・4
	栽培と環境	2～6				■2b		0・2
	農業機械	2～6				■2		0・2
	食品製造	2～8				■2		0・2
	造園計画	2～8					2	0・2
	造園施工管理	2～6			2		2b4#	0・4
	造園植栽	2～6			2			0・2
	測量	2～8			2			0・2
業	生物活用	2～6				▼2#		0・2
	動物科学◇					■2#		0・2
	園芸デザイン◇					□2b▼2#		0・2
	造園製図◇				2			0・2
家庭	保育基礎	2～6				■2		0・2
	生活と福祉	2～4		2				0・2
	ファッション造形基礎	2～7				■2		0・2
	家事援助技術◇			2		2#		0・2
	生活援助◇					■2#		0・2
福祉	社会福祉基礎	2～6				2		0・2
	介護福祉基礎	2～6		2				0・2
	生活支援技術	2～12				□2b▼2#		0・2
	介護総合演習	2～4				■2		0・2
	こころとからだの理解	2～8				■2		0・2
校外学修	フィールドスタディ◇			0・1(※)				0・1(※)
専門教科・科目計			10(2)	10・12(2)		14・16・18(2)		32・34・36・38(6)

b R6,7年度入学生 # R5年度入学生



GPS搭載田植え機による実習



中農みそ作り



植物バイオテクノロジー実習



剪定実習

職 員 構 成

職	校	教	教	養	兼	再	臨	任	実	実	臨	非常	特別	事	副	主	主	臨	外	技	炊	校	業	健康	齒	耳	眼	藥	計
	長	頭	諭	護教諭	務教諭	任用教諭	任講師	期付講師	習教諭	習助手	任実習助手	勤講師(教)	活動指導員	務部長	主幹	任	事	任事務	語指導助手	能主任	事員	務助手・農業作業員	務補助員	管理医・内科医	科医	鼻科医	科医	劑師	
計	1	2	27	1	1	1	1	2	5	2	3	4	1	1	1	1	1	1	1	2	7	6	3	1	1	1	1	1	80

生 徒 数

本 科		学 科 別			農業特別専攻科		コース別		
学年	学 科	男	女	計	学年	コース	男	女	計
1年	生 物 生 産	23	8	31	1年	担い手	1	0	1
	園芸デザイン					庭 園	2	4	6
	バイオ技術				2年	担い手	1	0	1
2年	生 物 生 産	8	8	16		庭 園	1	3	4
	園芸デザイン	7	5	12					
	バイオ技術	3	5	8					
3年	生 物 生 産	14	1	15					
	園芸デザイン	4	2	6					
	バイオ技術	5	2	7					
計		64	31	95	計		5	7	12

市町村別生徒数

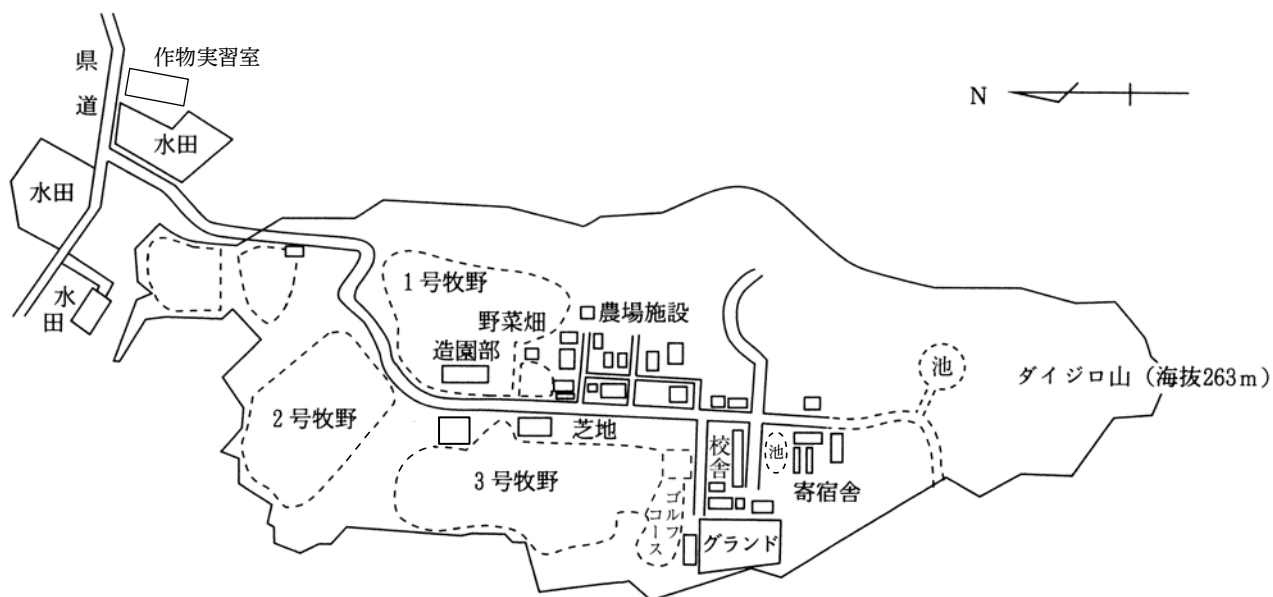
	本 科				農業特別専攻科				本 科				農業特別専攻科		
市 町 村	1年	2年	3年	計	1年	2年	計	市 町 村	1年	2年	3年	計	1年	2年	計
朝 日 町	0	2	0	2	0	0	0	富 山 市	24	23	23	70	1	2	6
入 善 町	0	0	0	0	0	1	1	射 水 市	1	2	0	3	1	0	0
黒 部 市	0	0	0	0	0	1	1	高 岡 市	2	6	2	10	2	0	0
魚 津 市	0	0	0	0	0	0	0	小 矢 部 市	0	0	0	0	0	0	0
滑 川 市	1	0	0	1	0	0	0	砺 波 市	0	1	1	2	2	0	4
上 市 町	1	0	0	1	1	0	1	南 砺 市	0	1	0	1	0	0	3
立 山 町	2	1	0	3	0	1	1	氷 見 市	0	0	2	2	0	0	0
舟 橋 村	0	0	0	0	0	0	0	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
								計	31	36	28	95	7	5	17

学校敷地

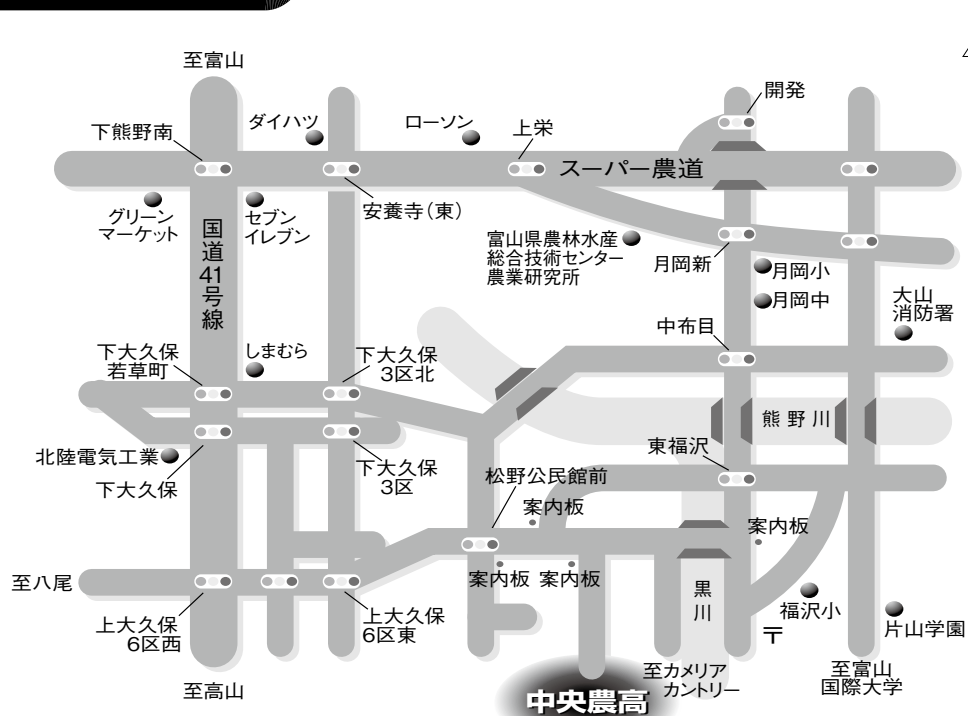
総 面 積	内 訳					
	建 物 敷 地	運 動 場	水 田	畑	公 道 衆 用 路	その他
m ² 335,678	m ² 14,281	m ² 17,287	m ² 53,959	m ² 26,299	m ² 306	m ² 129,074

海拔175m

校地平面图



学校案内図



部活動・農業クラブ活動

- **運動部**／ 硬式野球、バドミントン、卓球、ゴルフ、バスケットボール、陸上・スキー
- **文化部**／ 吹奏楽、茶道、美術、(牛愛会)



野球部



農業クラブ活動

- **農業クラブ (研究班)**／ 作物科学 環境緑化
動物科学 生物工学
園芸福祉 食品加工



陸上部



茶道部

卒業生の進路

■ 主な進学先 (過去3年間)

大学・短大 富山大学、新潟大学、東京農業大学、日本大学、酪農学園大学、中部大学、名古屋商科大学、北陸大学、富山国際大学、長浜バイオ大学、高岡法科大学、富山短期大学、富山福祉短期大学、金沢学院短期大学 他

専門学校・専攻科等 長野県農業大学校、新潟県農業大学校、兵庫県立農業大学校、北陸職業能力開発大学校、富山リハビリテーション医療福祉大学校、富山県技術専門学院、富山情報ビジネス専門学校、国際ペット専門学校、国際動物看護専門学校、富山調理製菓専門学校、大原簿記、富山自動車専門学校、富山県立雄峰高等学校専攻科 他

■ 主な就職先 (過去3年間)

農業関連 全国農業協同組合連合会、とみな野農業協同組合、(有)営農ワイエムアイ、(株)サカタニ農産、ヤンマーアグリジャパン(株)、(有)グリーンパワーなのはな、桑原牧場、ホクト(株) 他

製造関連 (株)源、(株)平成フード、ビューテック(株)、ファーマパック(株)、東洋紡(株)、鹿島興亜電工(株)、日の出屋製菓産業(株)、陽進堂ホールディングス(株)、ヤマサン食品工業(株)、(株)金沢ジャーマンベーカーリー、細川機業(株)、伊藤ハムデリー(株)、十全化学(株)、新越部品(株)上市工場、朝日印刷(株)、ハリタ金属(株) 他

サービス関連・その他 富山湾港運送(株)、日本郵便(株)、春日温泉観光開発(株)オリックスホテル(株)、(株)シーズプランニング、(有)ティーアイシステム、丸福石油産業(株)、中日本ハイウェイメンテナンス北陸(株)、(株)エービーシー・マート、(株)フジテックス、(株)ジェイアールサービスネット金沢、自衛隊 他

■ 令和6年度卒業生進路状況

